

道徳学習指導案

日 時：平成27年10月1日（木）

1. 主題名 『たったひとつの命』 【 内容項目3－（1）生命の尊さ 】

資料名 「三六五×十四回分のありがとう」（『中学生の道徳1』 廣済堂あかつき）

2. 主題について

学習指導要領では、「生命は、かけがえのない大切なものであって、決して軽々しく扱われてはならない。生命を尊ぶことは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直にこたえようとする心の現れといえる」と示されている。したがって自他の生命を尊ぶためには、まず自己の生命の尊さを深く考えることであり、生きていることの有り難さに深く思いを寄せることである。

指導に当たっては、生命の尊厳に気づかせ、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝する気持ちを育てていきたい。また授業では、与えられた自分の生命を大切に、前向きに生きていこうとする気持ちを育てたい。

資料について

生まれながら心臓疾病をかかえた筆者（佐江子さん）が、回復への大きな望みをかけて臨む手術の直前に書いた母親への手紙である。病気が回復し、これから生き続けることを夢見て語る筆者の思いは、手術の末に途絶えてしまう。筆者の「死」を通して生命のかけがえのなさ、互いに支え合って生きていること、そして生命に対する敬虔な思いを考えさせることのできる資料である。

3. 生徒の実態について

《省略》

4. 部会研究テーマと本時案との関わり

今年度の道徳部会の研究テーマは、「豊かな心を育み、道徳的実践力を育てる指導の工夫」である。児童生徒が豊かな心を育み、自らの生き方についての考えを深めていくことができるように「道徳の時間」を中心に研究を進めている。

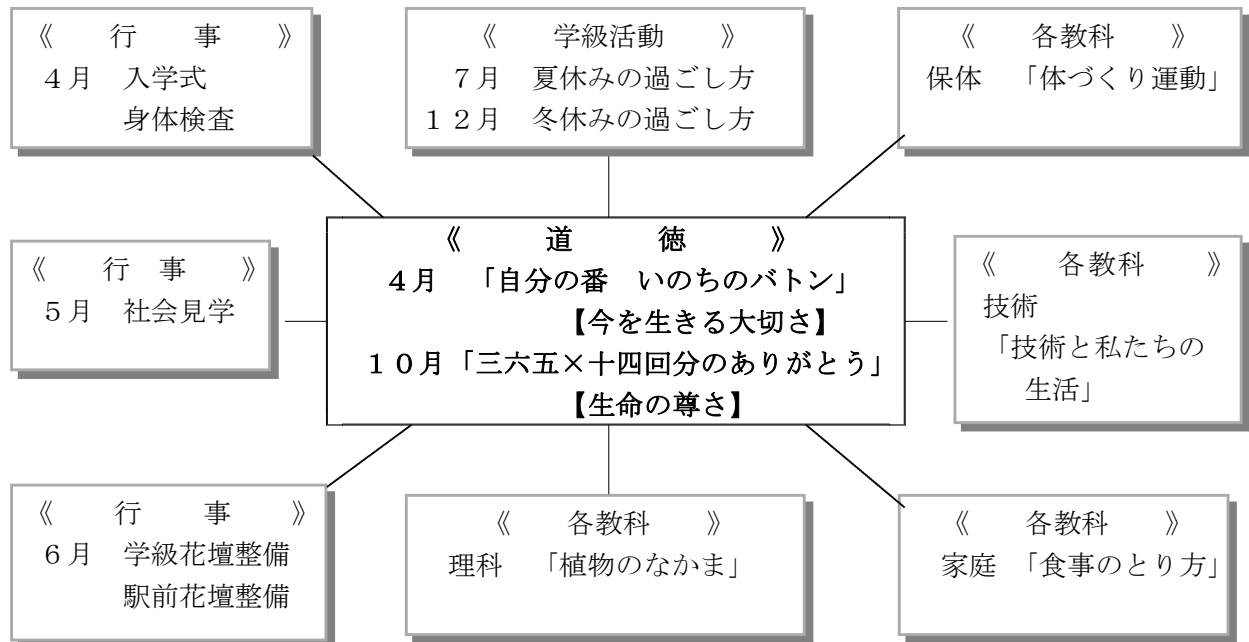
また中学校学習指導要領解説（P.92）には指導方法の創意工夫として、読み物資料の利用、話し合いの工夫、説話の工夫、視聴覚機器の利用、表現活動の工夫、板書の工夫の6点が示されている。本部会では今年度、その中から特に以下の2点を研究の視点として設定し、道徳的実践力を高めることをねらいとしている。

- (1) 興味・関心を育てる資料を提示する工夫
- (2) 友達と関わる力を育てる話し合いの工夫

筆者（14歳）が生徒と同年代であり、実際に母親に送った手紙文であるため興味・関心を抱きやすく、共感しやすいものと考えてこの資料を扱うことにした。副読本では、母親が出版社に送った手紙のあとに筆者が母親に宛てた手紙が掲載されているが、本時では順番を入れ替えて資料を提示しようと考えている。

また中学生の時期は比較的健康的に毎日が過ごせる場合が多いため、自己の生命に対する有難みを考える機会が少ない。この資料における筆者の「死」を通して、「生」に対するかけがえのなさ、生命の大切さ、生かされていることへの感謝の気持ちを考える機会としたい。また全体交流だけでなくペア交流なども取り入れながら、考えを深めていきたいと思う。

5. 主題における年間計画との関わり



6. 本時案

(1) 本時の目標

資料の筆者が母親に宛てて書いた手紙を通して、生命の尊さに気づき、生きていることに感謝しようとする道徳的心情を育てる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動	□教師のかかわり
導入 2分	<p>○自分がこれまでに親に宛てて書いた手紙について、可能な範囲で発表する。 ・だれに？ ・どんな内容だったの？</p> <p>○資料の筆者についてのことを簡単に知る。</p>	<p>□これまでに自分が書いたことのある親宛の手紙を想起させ、資料の筆者の画像を見せることで、資料に対する興味を持たせる。</p>
展開 前 半 20分	<p>○資料①「お母さんへ」という手紙を読む。</p> <p>○お母さんへの佐江子さんの思いについて考える。 ・いつも自分を支えてくれたことへの感謝 ・前向きに考えることの大切さを教えてくれたことへの感謝 ・手術と前向きに闘ってくるという決意 ・手術に成功し、必ず元気になるという希望</p> <p>○佐江子さんの手術後の希望について考える。 ・これまでお母さんに支えられた分の恩返しをしたい ・みんなと同じ健康な体になって、みんなと同じことをしたい ・今までできなかったことをしてみたい ・将来、お母さんのような母親になりたい ・お母さんの面倒を見たい</p>	<p>□資料①を配付し、範読する。</p> <p>□資料の内容や「三六五×十四回分のありがとう」という表現から、これまでの佐江子さんの命は、毎日ずっと母に支えられてきていることを捉えさせる。</p> <p>□ワークシート①に記入させる。 □ペア交流をしてから、全体で交流する。 □手術が成功し、元気になったときの希望について考えさせることで、「死」と対比する「生きる」ことへの思いを馳せる。</p>
展開 開 後 半 25分	<p>○資料②を読む。 ・佐江子さんが亡くなったことを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「死」とはどのようなことを意味するのでしょうか。</p> </div> <p>・取り返しのつかないもの ・夢や希望を奪うもの ・すべてをなくすもの ・生きたことの証 ・命が絶えること ・思い出となること</p> <p>○資料③を読む。 ・友の「死」を通して、佐江子さんの「死」に対する思いを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">中心発問：私たちはどのようにしながら「生きる」べきでしょうか。</p> </div> <p>・人に感謝しながら ・毎日を充実させながら ・1日1日を大切にしながら ・精一杯努力しながら ・自分が生まれてきたことの意味を考えながら ・夢や希望を持ちながら ・人との関係を大切にしながら</p>	<p>□資料②を範読する。(モニター表示)</p> <p>□ワークシート②に記入させる。 □「死」の意味について、それぞれが考えたことを発表し、切り返し発問をしながら、深めていきたい。</p> <p>□資料③を範読する。(モニター表示)</p> <p>□ワークシート③に記入させる。 □ペア交流をしてから、全体で交流する。 □「生きる」ことの意義について、それぞれが考えたことを発表し、深めていきたい。</p>
終末 3分	<p>○今日の授業の課題について知る。</p> <p>○資料④を読む。</p>	<p>□今日の授業の課題を伝える。 □資料④の母から佐江子さんへの手紙を範読し、余韻を持たせて授業を終える。(モニター表示)</p>

(3) 本時の板書計画

「お母さんへ」

三六五×十四回分のありがとう

柳橋佐江子

お母さんへの思い ※キーワードのみ板書

手術後の希望

「死」とは？

どう生きるべき？